

第87回県中央メーデー開催



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 富沢政一
編集者 鈴木英人

2016年5月10日
第1518号

勇気を持って話しかけよう
組織拡大は自分のために

働く者の連帯で、「ゆとり・豊かさ・公正な社会」を実現し、自由で平和な世界をつくろうのメインスローガンで、第87回長野県中央メーデーが長野市城山公園「ふれあい広場」で開催されました。当日はみごとに五月晴れとなり、とても暑い中での開催となりました。主催者発表では4200名の仲間が集まり、国労も長野地区協、更埴地区協の組合員20数名が参加してきました。

集会では「晴れた五月」などの合唱指導があり、主催者より熊本地震へのお見舞い、春闘案件では97%が景気が良くなっていないと回答した、4割を超える非正規の人たちの労働条件向上をとの挨拶がありました。

来賓挨拶のあと、生活困窮者自立支援の報告などがありメーデー宣言、「晴れた五月」合唱、団結ガンバロウをおこないデモ行進に入りました。



城山公園から善光寺仲見世通り、中央通りからトイゴ前で流れ解散のコースで、参加組合はそれぞれ「働く者すべての賃金底上げ」「核兵器廃絶と恒久平和を実現するぞ」などを訴え整然と行進しました。国労はその後、場所を国労会館に移し盛大に団結会をおこないました。



入社おめでとう
国労です

4月1日、大宮ソニックシティにおいて、平成28年度JR東日本入社式が行われ、夢や希望を胸に1800名程の新入社員が入社をしました。国労東日本本部は青年部・執行部・大宮工場支部方々全体で30名程が集まり、長野地本からは新津、坪井、坂本の3名で参加をして入社式宣伝行動を行いました。今年は参加人数が多かったので二手に分かれることができました。新入社員に「入社おめでとうございます。」

「研修頑張ってください。」と声をかけ、ティッシュペーパーやボールペンを配り国労をアピールしました。

「ありがとうございます。」と立ち止まり受け取ってくれる人も多く、また昨年までは支社ごとに集まって会場に移動している人

は中々受け取ってもらえませんでした。今年は若干ではありましたが受け取ってもらえることができました。年々、より多くの新入社員に受け取ってもらえることができ、変化を感じました。武田組織部長から、「ティッシュペーパーやボールペンを受け取ってくれたから加入した訳ではない。今後の取り組みが大切」と行動の集約がされ宣伝行動を終了しました。今後、研修終了後各現場に配属になりますので、新入社員が配属になる各分会は新入社員対策の取り組みを宜しくお願いします。

坂本 善昌



運動に自信をもち国労加入を訴えよう もう一人の仲間を国労へ



本部唐沢書記長と富沢委員長

3月12日から13日にかけて地本組織強化・拡大経験交流集会在ホテルプラトン・雄山において昨年に引き続き泊りで開催しました。各支部分会より50名の参加で、本部唐沢書記長、エリア武田組織部長、高崎地本原田組織部長と尾臺さん、河原さん、嘉瀬さん（青年部）が参加されそれぞれオルグを受けました。二日間の日程を終え長野地本においても組織拡大の取り組みを強めていこう、と決意を新たにしました。

大会以降18名拡大、拡大の流れを作ろう

唐沢書記長は情勢挨拶の後、組織拡大について講演。全国大会以降全体で18名の拡大を勝ち取ってくることができた。9月以降の拡大の特徴は、20代・30代を9名拡大している。これまでにない流れになっている。拡大に向け打って出る、流れを作る事に全力をあげていきたいと考えている。全国に青年部は50名程いる。若手が本当に自信を持って拡大してい

新採対策を通年で、全ての職場で取り組もう

東日本本部武田組織部長より、①東日本は大会以降11名の復帰・加入している。②一括和解以降東日本会社の新規採用

者の対応は、研修で複数の組合の存在、加入・未加入の選択の自由を説明している。また、どの労働組合に加入しても試験等で一切差別しないと話をしている。そこが大きな変化だ。会社の説明によつて、未加入者も多くなつてきている。入社式宣伝行動で国労グッズを受け取る状況になつてきた。ティッシュやボールペンを受け取ったからといって加入する訳ではないので、職場での取り組みをしっかりとやってもらいたい。国労組合員の息子さん・娘さんが採用されている状況になつている。貨物会社では、トレーナーを介しての他労組加入が無くなつたり、現場配属まで未加入でくる状況に変化してきた。③国労では今後組合員が大きく減少していく。新採対策を全ての職場で取り組んで欲しい、との話がされました。

自分たちのハードルをどう乗り越えていくのか

高崎地本より4名の方に話をして頂き、分散会に入りました。二日目の分散会報告では、▽飲み会を行いながら普段やってい

を渡す取り組みを。▽レクが定着しているが、一歩前に出れない。自分がハードルを作っていないか？自分が何をやるのか？追及していかないとけない。▽青年部からは、入れた後どうするかではなく、入れる事を考えて欲しい。意見は出尽くした、行動あるのみ。年間30数人の加入では間に合わない。仙台の組対、もっと明るかった。若い加入があつて活気があつた。安心して相談できる、

自分もそうならないといけない。踏み込みが足りないのでは？もっと自信を持って取り組んでもらいたい。矢澤副委員長から、少しずつ「入れ」と言う様になった。説明会も開けるようになってきた。あとは加入させるだけ。分

長野マラソン完走記



2016年4月22日、今年も春の長野路を駆け抜ける、「長野オリンピック記念マラソン」が開催され、私も14回目の参加をしました。2001年の第3回大会に初めて参加して以来、1度も途中棄権することなく、無事にゴールし続けてこれたことに感謝しています。まだ、

マラソンに取り組み始めて、ゴールの南長野オリンピックスタジアムに先着した仲間から励まされる中、やっとゴールしていた頃は、みんなに追いつけ！追い越せが目標でした。

省みれば、そういった仲間のおかげで、望外な記録で走れたり、有名な大会に参加することができました。今年は先輩が、60歳代で2位という好成績で走ったことが新聞で報じられ、国労の仲間としても、誇らしく感じられます。これからも仲間を大切に、楽しい明日と一緒に走り続けられるようにONE FOR ALL!の精神で頑張りたいと思いました。

柳原 昭治（東北信支部：長野総合運輸区分会）

松本俊文 3:09:44
柳原昭治 3:26:05
太田耕三 3:42:35

平塚 隆 3:43:40
景井英一 4:08:25